

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	與島 大吾
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○観光業の振興を図るための組織体制等の充実		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美せとうち観光協会運営費補助金		
施策の目的	奄美大島全体の動きを見据え、奄美せとうち観光協会と連携しながら観光組織体制の充実を図る。		
具体的な施策内容	奄美せとうち観光協会運営費を助成し、組織の体制を整え、観光案内や、ホームページの更新、ガイドマップを作成し、島コーディネーターと連携した観光振興を行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
18	2	奄美せとうち観光協会運営費補助金		3,800			一般財源		3,800								
計				3,800		計				3,800							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光協会会員数	目標	65	70	75	75	75	B
	実績	61	93				
【評価】							
<p>コロナ禍により、旅行等が規制されたため、観光客が激減したので充実した活動ができなかったが、会員数は徐々に増加している。今後は本協会を活用し、世界遺産登録後の観光客の増加を見据えた観光促進ができるよう関係団体と協力しながら、組織体制の充実を図る。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	與島 大吾
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○大型客船の誘致など宣伝誘致活動の推進		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	客船受入協議会補助金																
施策の目的	世界自然遺産登録後の国内外の観光客の増加を見据え、大型客船の誘致などの宣伝誘致活動の推進・充実を図る。																
具体的な施策内容	九州クルーズ振興協会のホームページに、古仁屋港の情報を提供し掲載して、PR活動を行った。また、鹿児島県観光連盟等関係機関と連携し、誘致に向け、ツアー等の企画を検討。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
		R 3は、経費なし。															
計				0		計				0							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大型客船受入件数	目標	3	5	5	5	5	D
	実績	0	0				
【評価】							
<p>コロナ禍により、旅行等が規制されたため、大型客船の寄港が一度も無く、活動ができなかった。今後は関係団体と協力しながら、世界自然遺産登録後、旅行の規制が解除された際には、観光客の増加を見据えた、観光促進・大型客船の誘致などの宣伝誘致活動の推進を図る。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	〇観光ネットワーク（琉球弧の島々とのタイアップ等）の形成		

会計区分			会計名						
事業名	奄美・屋久島まち歩き連絡協議会								
施策の目的	「世界自然遺産地域の里から発信するまちづくり」をコンセプトに、奄美と屋久島それぞれの地域を掘り下げて理解するとともに、交流・連携を深め、今後の方向性や将来の旅行ツールとしての展望を探ることを目的とする。								
具体的な施策内容	H30年に奄美、屋久島の6市町村で協議会を設立し、年3回の意見交換会や、専門講師を招聘しての研修会、資源調査を行う。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R 3は、経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
まち歩きガイド数（528会）		目標	10	10	10	10	D
		実績	2	0			
【評価】							
<p>新型コロナの影響もあり、当協議会としての活動は中止となり、会員である528会の活動も行わなかった。世界自然遺産に登録され、既に世界自然遺産登録地でまち歩きを確立させている屋久島との連携を強化していく。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	與島 大吾
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○受入体制（人材育成・観光案内板等）の整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町島案内人育成		
施策の目的	世界自然遺産登録後の国内外の観光客の増加を見据え、人材育成や観光案内板等の整備を行い受入体制の強化を図る。		
具体的な施策内容	町内観光地の案内看板の補修・整備を行う。 シマ案内人や地域通訳案内士の育成。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名			金額		細節		費目名		金額						
10	6	修繕料			47				町費		353						
18	2	補助金			306												
計								353	計								353

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
認定ガイド	目標	5	10	12	14	15	D
	実績	0	0				
案内板設置	目標	15	10	10	10	10	C
	実績	10	1				

【評価】

令和3年1月24日に瀬戸内町島案内人協会（会員23名）を立ち上げた。協会員を対象に普通救命講習を実施予定だったが、コロナ禍により中止となり、新規のガイドの育成ができなかった。案内板については、世界自然遺産看板の設置を行い、老朽化して壊れたものなどは補修・整備をした。今後は関係団体と協力しながら、世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据えた研修会等でプロのガイド育成などの受入体制の強化を図り、観光案内板等を整備して、観光振興の推進を図る。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	與島 大吾
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○本町の観光スポットやおすすめコースを情報発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美せとうち観光協会運営費補助金		
施策の目的	観光客増加傾向の社会動向に応じた、自然・文化・歴史等の地域資源の情報発信を行い、観光振興を図る。		
具体的な施策内容	町、奄美せとうち観光協会ホームページや各種観光パンフレット、SNSによる情報発信。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
18	2	奄美せとうち観光協会運営費補助金			3,800				町費			3,800					
計					3,800			計					3,800				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
奄美せとうち観光協会ホームページアクセス数	目標	300,000	316,000	333,000	351,000	370,000	C
	実績	285,033	319,251				
【評価】							
新型コロナウイルス感染症の影響により、実際に来訪できない期間においても、各種媒体を活用した積極的な情報発信を行い、アクセス数も増加しつつある。世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据え、今後も積極的な情報発信により、来訪意欲の向上に努める。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	與島 大吾
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○奄美群島の魅力を全国に向けて情報発信		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	奄美群島観光物産広域連携事業																
施策の目的	奄美群島における観光・物産振興のための取り組みを島ごとの域を越えて一元的に行い、奄美群島の観光と交流人口の拡大、特産品の販路拡大、観光物産関連事業者の育成等により群島産業の振興を図る。																
具体的な施策内容	奄美群島の観光交流人口増加に向けた一般消費者への旅行喚起施策とあわせて、キャリア及び旅行会社と連携した旅行商品造成活性化施策及び物産面のブランディングを積極的に展開し、観光来訪の促進を図った。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額	細節	費目名			金額							
18	1	奄美群島観光物産協会負担金			2,790		一般財源			2,790							
計					2,790	計					2,790						

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内町への入込客数	目標	150,000	158,000	166,000	175,000	185,000	C
	実績	93,660	89,365				
【評価】							
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、物産展は中止となり、旅行会社向けのプレゼンテーションイベント等も中止が相次いだ。WEBを活用したPRを行うことができた。</p> <p>従来の観光誘客プロモーション事業等を実施し、旅行商品造成等に繋げるとともに、引き続き一般消費者向けの観光PRイベントを実施する。併せてECサイトを活用し、特産品の販売促進に繋げる。</p>							

(令和3年度) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	港湾漁港係	担当者名	浜田 高仁
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇持続可能な『シマ』づくりにつながる戦略拠点の整備		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	加計呂麻島ターミナル施設整備事業																
施策の目的	加計呂麻島は観光資源が豊富であり、貴重な自然や文化にふれあえる観光コンテンツとなっていることから、島内への観光客が年々増加している状況であります。また、世界自然遺産登録の効果により今後もさらなる交流人口の増加が見込まれております。しかしながら、既存の待合所は施設規模が著しく小さく、感染防止対策が満足に対応できずコロナ禍における感染が懸念され船舶利用者等に支障をきたしている状況であることから、新たに安心して利用できる施設の整備を行い、『船舶利用者の快適性、新たな観光スタイル等・新たな生活スタイル』に資する環境整備の充実により利活用を高め『withコロナ期においても』安心安全で持続的に人の流れをつくり賑わいにあふれた拠点施設の構築により、加計呂麻島内における交流、関係人口の増加と観光滞在促進の効果に繋げる。																
具体的な施策内容	①建設予定地の地質調査による建物安定性の調査及び施設の規模並びに必要なスペースの具体化に関する基本設計(案)の作成 ②意見結果(パブコメ)を踏まえた施設建設に必要な地質調査及び実施設計																
【経費内訳】																	
款	8	項	4	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	6	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額	節	細節	費目名		金額								
8		旅費		256	1		(奄振)ターミナル施設整備事業費補助金		9,600								
12		委託料		27,650			R3臨時交付金		6,520								
13		使用料及び賃借料		134			(一般財源)		11,920								
計				28,040	計				28,040								

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
加計呂麻島への入込客数(交流人口)	目標	—	—	—	—	50,000	
	実績	38,832	38,474	—	—		
ターミナル施設の利用者数(地域住民及び交流人口)	目標	—	—	—	—	53,000	
	実績	36,212	40,000	—	—		
【評価】							
<p>●令和3年度は事業スケジュールに基づき、建設予定地の調査や施設規模の基本設計(案)を、関係課と連携を図りながら取り組むことができた。また、基本設計(案)について広く公表し、加計呂麻島の地域住民を対象とした住民説明会やパブリックコメントを実施したことにより多くの意見を伺うことができた。</p> <p>今後は、意見結果を踏まえながら、施設建設に必要な実施設計等に取り組み、令和5年度からの工事着手を目指し準備を進めていくこととする。</p> <p>※KPIは、R1数値(交流人口:46,736,地域住民及び交流人口:50,000)</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○奄美群島と本島間の割高な運賃を軽減（航路航空運賃軽減）		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	奄美群島航空・航路運賃軽減事業																
施策の目的	住民生活を圧迫する割高な移動コストを軽減することにより、離島住民等の負担軽減を図る。																
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 対象者：奄美群島住民及び群島出身学生等、その他 対象路線：鹿児島-奄美群島間路線、奄美群島内路線 航空運賃軽減額：離島割引運賃の割引率を普通運賃比約54%引、往復割引運賃の割引率を普通運賃比約28%引 航路運賃軽減額：路線により3,850円～900円の割引 																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18		負担金			22,248			一般財源			22,248						
計					22,248		計					22,248					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内町への入込客数の増	目標	150,000人	170,000人	170,000人	180,000人	180,000人	C
	実績	93,000人	89,000人				
【評価】							
<p>R1年度まで毎年増加傾向にあった奄美群島への入込客数だが、R2年度においては51.7万人、R3年度においては55.6万人と新型コロナウイルスの影響により大幅な減少となった。</p> <p>しかし、コロナ過による生活様式の変化等により場所を選ばないワークスタイルが定着しつつあり、ワーケーションやテレワークなどの新たな生活スタイルの拡大による、再度の入込客数増が見込まれている。今後においても、奄美群島航空・航路運賃軽減事業を継続し、奄美大島への入込客数の増を図る必要がある。</p> <p>※入込客数は大島支庁発表。</p> <p>※当事業は、事業主体が県の為、KPI設定については町独自に設定しております。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	龍山 和彦
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇人が集い交流する場所の整備（加計呂麻体験交流館カフェ）		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	加計呂麻島展示・体験交流館カフェ事業																
施策の目的	本町加計呂麻島の観光拠点である、「加計呂麻島展示・体験交流館」にカフェを設置し、観光客の呼び込みを図るとともに館全体の利用促進が目的。																
具体的な施策内容	カフェ事業運営については、諸鈍集落婦人会カフェ事業部に業務委託し、「かけろまカフェ」として運営。毎月町が委託料を支払い、売上は町に納付する形を取り材料費も町のほうで補助している。その他カフェ運営以外にも、カフェ主催のフリーマーケット等の開催またネット販売等も行っている。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	5	事業	1	(単位：千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	1	カフェ事業委託料				3,750	88	加計呂麻島体験交流館カフェ代金				2,512					
15	1	カフェ材料費				598		一般財源				1,836					
計						4,348	計						4,348				

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
販売売上（単位：千円）	目標	2,000	2,000	2,500	2,700	3,000	B
	実績	1,832	2,512				
【評価】							
<p>R3年度はR2年度と同様に、新型コロナの影響で施設自体の休館もあったが、指標で示した目標はクリア出来た。また、販売売上がコロナ前のR1年度よりR3年度のほうが多かったことも踏まえ、休館終了し再開後の客足が多くこれからも同様なことが起きることが予想される。今後も受託者とより連携を密にとり、より良いカフェ運営を実施していきたい。</p> <p>今後の課題としては、材料費を町が全て負担していることについて、売上の中から材料費を賄うことが出来ないか、受託者と協議を重ね課題解決に努めたい。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	情報政策係	担当者名	花岡 香菜子
----	-----	----	-------	------	--------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○本町の魅力を町公式ウェブサイト及び町公式SNSなどで発信		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	情報発信強化事業																
施策の目的	せとうち創生マニフェスト「情報発信の強化」の実現																
具体的な施策内容	町公式ウェブサイトをはじめ、町公式SNS（Twitter、Facebook、YouTube、Instagram）の有効活用による情報発信、及び民間主催の大会への町PR作品の制作・出品																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
12	249	情報発信強化事業委託料			1,598			(一般財源)			1,598						
計					1,598		計					1,598					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
情報発信強化への取組 (単位:%)	目標	100	100	100	100	100	A
	実績	70	90				
【評価】							
民間主催の町PR作品の大会でグランプリを受賞し、新型コロナの影響がある中でも効果的に魅力の発信を行うことができた。また、広報紙や町ホームページをはじめ、SNSを有効に活用した情報発信を行うことができた。今後も引き続き、情報発信の強化、特にSNSなどデジタルを活用した情報発信の強化・充実を図るとともに、チームせとうちの一員である役場職員の情報発信に対する意識の醸成に努めたい。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	龍山 和彦
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇シェアサイクル事業により加計呂麻島の豊かな自然を発信		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	シェアサイクル事業																
施策の目的	シェアサイクルを利用することにより、加計呂麻島での時間を有効的に活用して、自分のスケジュールで自然を満喫出来るようになり、観光客の増加に繋がることを目的とする。																
具体的な施策内容	町直営で事業を実施。加計呂麻島に電動アシスト付自転車10台を3地点に配置し、瀬相待合所、生間待合所、加計呂麻島展示・体験交流館で貸し出しが可能。瀬相待合所と生間待合所については、フェリー受付窓口販売員に貸し出し業務を委託している。また、車両メンテナンスと自転車回収業務も委託。保険も加入。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位：千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		節	細節	費目名		金額							
10	1	修繕料		95		74	1	シェアサイクル使用料		812							
11	1	サイクル保険料		325			1	一般財源		532							
12	1	シェアサイクル回収業務委託料		165													
12	1	シェアサイクル業務委託料		477													
12	1	シェアサイクルメンテナンス業務委託料		282													
計				1,344		計				1,344							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用人数	目標	1,000	1,500	1,800	2,000	2,200	C
	実績	551	871				
【評価】							
R3年度はR2年度より実績は上回ったが、目標は達成出来なかった。しかし、新型コロナの影響で貸し出し停止期間もあったが、利用人数については少し上昇した。							
当事業については、R3年度を持って終了になるが、R4年度からは新たな電動付アシスト自転車「E-Bike」を使用した事業を展開していく。今後も観光客や利用する全ての方達の満足度を向上させることや、本町の自然や文化等を直接見て感じてもらい、交流人口の増や本町PR等も含めて事業を実施していきたい。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇祭りやイベント（シーカヤック、ハーフマラソン等）での交流促進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	観光イベント事業		
施策の目的	本町の自然特性を活かしたイベントを開催することで、全国の多くの方に本町の魅力を発信し、自然や文化に親しむ機会をつくり、観光振興や文化交流を促進する。また、多くの町民の一体感を増進させ、地域づくりへの創造心を醸成し、活力ある地域の形成と住民の定着を図る。		
具体的な施策内容	コロナ禍につきイベント事業はすべて中止となったが、次回大会へ向け準備、広報活動を行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位：千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		節	細節	費目名		金額							
12	1	奄美シーカヤックマラソン運営委託料		5,000		16		シーカヤックマラソン大会参加料		890							
12	1	加計呂麻ハーフマラソン運営委託料		0		35		加計呂麻島ハーフマラソン大会参加料		0							
								一般財源		4,110							
計				5,000		計				5,000							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
シーカヤック大会参加者数	目標	500	250	500	500	500	D
	実績	0	0				
ハーフマラソン大会参加者数	目標	700	600	700	750	800	D
	実績	0	0				

【評価】

コロナ禍によりイベントが開催できず、成果が得られなかった。
次年度以降、中止の影響により参加者の減とならないよう引き続きPR活動に努め、新規参加者及びリピーターの確保を図る。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	與島 大吾
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○観光大使が全国で活動を展開することによる本町の魅力発信		

会計区分			会計名													
事業名	観光費															
施策の目的	観光大使が全国で活動を展開することにより、本町の魅力を発信して観光振興に寄与することを目的とする。															
具体的な施策内容	コロナ禍により観光大使としての活動する機会がなかった。															
【経費内訳】																
款	7	項	1	目	3	事業	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳							歳入内訳									
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額								
		R 3は経費なし。														
計				0	計				0							

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光大使としてのイベント数	目標	1	3	3	3	3	D
	実績	0	0				
【評価】							
<p>コロナ禍により、観光大使として活動する機会がなくなり活動ができなかった。</p> <p>今後はコロナ終息後に、世界自然遺産登録後の本町の魅力を発信して、観光振興の推進を図る。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	静島 春玲
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○高校と町の連絡体制づくり(古仁屋高校コーディネーター)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域おこし協力隊(高校コーディネーター)		
施策の目的	古仁屋高校の活性化に向け、高校の魅力発信、地域みらい留学制度のPR活動及び地元企業での生徒の体験学習など企画・実施を行う。また、寮生が寮生活から自主性及び協調性をつけるためのサポートを行いながら、地元の高中生や地域の方々との関わり合いによるコミュニケーション能力を向上させるための活動を目的とする。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 古仁屋高校支援担当(古仁屋高校振興・支援コーディネーター) 生徒募集活動・広報活動(企画立案、資料作成、イベント参加等) 古仁屋高校生徒寮の管理・運営に伴う事務 古仁屋高校活性化事業に伴う事務運搬 古仁屋高校生徒寮を住居とした各種活動の展開 		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	3	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳						歳入内訳							
節	細節	費目名		金額		節	細節	費目名		金額			
7		報償費		7,260				特別交付税		7,260			
8		旅費		349				一般財源		2,400			
10		需用費		252									
11		役務費		274									
13		使用料及び賃借料		1,492									
26		公課費		33									
計				9,660		計				9,660			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数(人)	目標	470	470	470	470	470	B
	実績	417	421				
町内中学卒業生の古仁屋高等学校進学率(%)	目標	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0	C
	実績	32.9	37.0				

【評価】

・令和3年度までは、地域おこし協力隊の立場で古仁屋高校振興コーディネーターを古仁屋高校活性化対策室と共に寮の運営・生徒の体験学習、実習を中心に行ってきた。コロナ禍により2年目以降の活動が制限され思うような実績出来なかったのは残念であるが、寮の運営については、生徒の立場となって運営をしていくことができたのではと感じる。

・次年度からは、個人事業主として業務委託を受け、引き続き古仁屋高校振興コーディネーターを行うが、これまでと違い、これまで以上に積極的に実施計画を建て実行していくことを望む。また、町内中学校へ出向き古仁屋高校PRにも力を入れていただきたい。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	静島 春玲
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外や町内遠隔地からの生徒のため古仁屋高校の寮を整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業（男子寮）		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーションを学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終的目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事ができる環境づくりのために夜のコーディネーターとして寮監を配置し、また、1日2回（朝・夜）の食事を業務委託することで、安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	5	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
10		需用費		9,619			一般財源		20,443								
11		役務費		94													
12		委託料		10,317													
13		使用料及び賃借料		40													
17		備品購入費		318													
18		負担金、補助金及び交付金		55													
計				20,443		計				20,443							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
寮の受入れ数	目標	11人	14人	14人	14人	14人	B
	実績	11人	12人				
【評価】							
<p>●3年度は、3年生5名、2年生4名、1年生3名の計12名と全学年が揃った初の運営となった。2部屋が空き室となっているものの充実した寮生活となっている。</p> <p>●4年度の受け入れ数は、5名とし、1年生のみ2名1部屋体制で運営することとした。4年度以降は毎年度5～6名の募集をすることとした</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	静島 春玲
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外や町内遠隔地からの生徒のため古仁屋高校の寮を整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業（女子寮）		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーションを学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終的目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事ができる環境づくりのために夜のコーディネーターとして寮監を配置し、また、1日2回（朝・夜）の食事を業務委託することで、安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	5	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
10		需用費		1,025			一般財源		5,260								
11		役務費		83													
12		委託料		3,567													
13		使用料及び賃借料		14													
17		備品購入費		571													
計				5,260		計				5,260							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
寮の受入れ数	目標	7人	10人	10人	10人	10人	A
	実績	7人	10人				

【評価】

- 3年度は、3年生2名、2年生5名、1年生3名の計10名と全学年が揃った初の運営となった。全部屋満室となり充実した寮生活となっている。
- 4年度の受け入れ数は、4名とし、1年生のみ2名1部屋体制で運営することとした。4年度以降は毎年度4名の募集をすることとした

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	静島 春玲
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	〇町外から古仁屋高校へ通う留学生の経済的負担を軽減		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	古仁屋高校留学生徒扶助費																
施策の目的	瀬戸内町の最高学府である古仁屋高校の存続及び振興・活性化を支援するため、町外から古仁屋高校へ入学した生徒へその費用の一部を扶助し、留学生の経済的費用負担の軽減を図ることを目的とする。																
具体的な施策内容	瀬戸内町を除く郡内の入学生には月40,000円、郡外の入学生には50,000円を助成																
【経費内訳】																	
款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
19		扶助費			14,470			(奄振) 留学支援事業及び補助金			8,682						
								一般財源			5,788						
計					14,470		計					14,470					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
古仁屋高校留学生への支援	目標	-	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	100%				
【評価】							
●R2年度19名、R3年度25名の留学生が古仁屋高校へ在籍しており、古仁屋高校の存続及び活性化に繋がっている。							
●4年度の新留学生数(寮生)は、郡外が7名、郡内1名、町内1名の計9名である。また、4年度より、扶助費が郡外は40,000円、郡内は30,000円と変更になった。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○本町での充実した高校生活を提供（地域みらい留学生）		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	町外から来ている地域みらい留学生が、本町において充実した高校生活が送れるよう、古仁屋高校活性化対策専門に地域おこし協力隊を配置し、振興コーディネーターと共に寮管理運営や学校との連携を図り、官官学の共通理解を図っていくことが目的である。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・寮費の管理、委託業者への支払い、寮運営に伴う光熱水費や通信料 ・月1回の寮ミーティング ・学校との情報交換会 ・寮イベントへの協力等 		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節		細節		費目名		金額			細節		費目名		金額				
7				報償費		1,980					一般財源		2,375				
8				旅費		349					(特別交付税措置あり。)						
11				役務費		46											
計						2,375			計						2,375		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
体験学習や体験実習	目標	2回	2回	3回	3回	3回	C
	実績	0回	0回				

【評価】

・今年度より地域おこし協力隊で対応し、より一層の活性化の充実を図り、さらに専門性を高めていく考えであった。

・昨年度に引き続き、コロナ禍により体験学習や体験実習が全く実施できなかった。

・地域おこし協力隊は受け入れたものの、地域等になじみず、休みがちであり、専門性を高めるには至ってなかった。そういう中でも、10月には、町内全中学校に古仁屋高校に関するアンケートを実施したのは、一定の評価はあるものだと考える。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	手嶋 祥大
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-4
事業概要	○町外の若者とともに地域課題に取り組む(地域おこし協力隊)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域おこし協力隊事業		
施策の目的	都市圏などから本町へ移住し、集落の維持活性化に係る活動、地域行事に係る支援などを行いながら本町への定住・定着を図る事を目的とする。		
具体的な施策内容	地域協力活動(古仁屋高校振興・支援コーディネーター配置:合計3名) 古仁屋高校の活性化のため、寮生受入の募集や、受入れ後の生徒管理、高校や保護者との調整等を実施。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
	節	細節	費目名		金額				細節	費目名		金額					
	7		報償費		7,260				一般財源			9,660					
	8		旅費		349												
	10~12		需用費・役務費・使用料		2,019												
	26		公課費		32												
	計				9,660				計				9,660				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
協力隊の卒業後の定住率	目標	60%	60%	60%	60%	60%	A
	実績	87.5%	90.9%				
卒業隊員の起業支援活用実績	目標	50%	50%	50%	50%	50%	A
	実績	50%	50%				

【評価】

●古仁屋高校振興コーディネーター及び支援コーディネーターは、古仁屋高校活性化のため寮の管理全般から、高校や保護者との調整、新入生の受入れ準備等の活動を行ってきた。振興コーディネーターの2名は令和元年から配属されており令和3年度で任期満了となるが、R4年度より「瀬戸内町地域みらい留学コーディネーター」として業務委託を受けており、引き続き寮生の管理や高校との調整等を行っていく。

支援コーディネーターは令和3年度から配属されており、振興コーディネーターと共に古仁屋高校活性化業務を行ったが、令和3年度末に退任となった。

R3年度に卒業した隊員3名は共に本町内居住であり、協力隊の目的である定住・定着という目的を達成している。

今後の「地域おこし協力隊」については、地域課題解決に向けて、より特化した「ミッション型」での採用を検討していく。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-4
事業概要	○地域おこしに取り組む町と就業体験を望む学生をマッチング		

会計区分			会計名						
事業名	島キャン								
施策の目的	離島での職業体験をしながら、島おこし活動を行い、島の魅力を捉え直し、離島同士の繋がりや離島に活気と潤いをもたらすことを目的としている。								
具体的な施策内容	地域おこし活動に取り組む離島市町村と離島でのインターンを希望する学生とをマッチングする。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6								
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数	目標		446	452	458	464	470	C
	実績		417	432				
【評価】								
R2・R3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、瀬戸内町におけるインターン実績は無かった。しかし、ポストコロナにおいては、本町と都心部の学生との重要な交流事業となり、離島部の現状を知ってもらう事や、若い視点でのアイデアによる地域活性化、将来の移住候補者、交流人口増へと繋がっていくことが考えられるため、R4年度以降、情報共有など積極的に関わっていく。								

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係長	担当者名	中島
----	-----	----	--------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-5	※事業№46と同(再掲)
事業概要	〇テレワーク・ワーケーション対応として受入体制の整備			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業(すこやかHUB)		
施策の目的	コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図る。		
具体的な施策内容	当事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、令和2年度からの繰越事業である。 施設整備をメイン事業とし、先進地視察・空間リニューアル助成事業・コミュニティデザイン形成事業(指定管理者業務)などによる、利用促進・受入体制の強化対策などを実施した。		

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	31	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳。									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
8	3	旅費(視察旅費)		163		R2	臨時交付金		80,521								
10	2	消耗品・燃料費		225		※繰越事業です。											
11	1-2	手数料		472													
12	1	委託料		10,393													
14	1	整備費		56,127													
18	1-2	負担金・補助金		13,141													
計				80,521		計				80,521							

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用する契約企業数(年間契約)	目標	/	3	4	4	4	A
	実績	/	4	/	/	/	
利用者数(延べ)	目標	/	270	1080	1560	1560	B
	実績	/	224	/	/	/	
【評価】							
〇令和3年度は主に、施設整備と、効果的・効率的な施設運営を目指した「コミュニティデザイン形成事業(指定管理者業務補助金)」、町内受入体制の強化として、町内の遊休資産を有する事業者の方に対し、宿泊施設や新たなテレワーク施設への改修を促し、その経費に対し助成する「空間リニューアル助成事業」を実施した。※「空間リニューアル助成事業実績=4地区の物件に対し助成。(助成額=3,141千円)							
施設整備は、コロナの影響により完成が遅れたものの、R3.12.23に完成、R4.1.11にプレオープン、R4.2.25にグランドオープンすることができた。							
「コミュニティデザイン形成事業(=補助金額10,000千円)」では、施設イメージ設計への参画、先進地視察により全国で好展開を図っている類似施設から取得したものの当施設への活用、円滑な施設利用に係る環境整備、サイト作成やプレスツアーの実施による、周知広報展開が実施され、初年度として十分な実績となった。							
令和4年度に向けては、指定管理者と連携を図り、施設利用促進のためのメニュー開発や、島外企業などへの積極的な施設活用誘致、そして引き続き、町内受入体制の強化を実施していく。							
※KPIの利用者数(延べ)の未達成理由は、グランドオープン延期(コロナ影響)によるもの。							
※R4利用者数KPIは、コロナ禍を考慮し、修正しています。(全年提示1,248人)							
※利用促進のための施策メニューのひとつとして、ボランティア活動希望者等、集落への受入支援などについても検討していく。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係長	担当者名	中島
----	-----	----	--------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	OWi-Fi環境の整備による入込客等の利便性の向上		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	空間リニューアル助成事業（持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業）		
施策の目的	町内の事業者等が所有する遊休資産等をウィズコロナ時代の新たな働き方や過ごし方に対応するべく、テレワーク施設または宿泊施設にリニューアルする経費の一部を助成することにより、本町への交流人口の拡大や地域内経済の好循環を創出することを目的とする。（令和2年度からの繰越事業です。）		
具体的な施策内容	改修等に係る経費を、1件当たり1,000千円を上限に助成する。 令和3年度において、広報紙や町ホームページでの周知及び住民説明会を開催し、町内事業所などに活用推進を図る。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	31	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節		細節	費目名			金額			細節	費目名			金額				
18		178	補助金 (R2からの繰越)			3,141				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			3,141				
計						3,141			計						3,141		

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
事業活用事業所数	目標	-	10	-	-	-	B
	実績	-	5	-	-	-	

【評価】

R3年度の実績は、交付申請8件、交付決定7件、事業実施5件、事業取下げ2件であった。
 （交付申請：5,359千円、交付決定：4,160千円、事業実績：3,141千円、事業取下1,019千円）
 事業実施時期については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、説明会の開催が10月上旬にずれ込んだため、「年度未までに改修完了とする」補助金交付条件のクリアが困難となるケースがみられた。
 当事業の目的は、「域内経済循環創出のための受入体制の強化」であるため、補助金活用事業所と「すこやかHUB」において連携を図り、誘客や滞在促進に努めていく。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○「あまみシマ博覧会」による島の自然・文化等の発信		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	あまみシマ博覧会																
施策の目的	奄美群島の魅力を奄美群島民・観光客に知ってもらい、国内外に広く情報発信をしてもらうことを目的とする。																
具体的な施策内容	奄美群島の自然や文化、人材を活用した様々なプログラムを博覧会形式のイベントとして奄美群島全域にて同時期に開催。																
【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	1	奄美群島観光物産協会負担金			2,790			一般財源			2,790						
計				2,790				計				2,790					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
登録プログラム数	目標	15	20	20	20	20	B
	実績	13	14	/	/	/	
利用者数	目標	100	100	100	100	100	B
	実績	59	65	/	/	/	
【評価】							
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は低く留まった。また、プログラム登録者は例年決まった事業者がほとんどであり、新規登録者が少ない。</p> <p>R2年度より公式HPからのオンライン予約や、デジタルパンフレットの閲覧も可となった。町HPや広報誌等を活用し、公式HPへの誘導を行うなど、利用者向け・事業者向けともに本事業の周知を図りたい。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○集落にある空き家を集落主体で改修するための経費を助成		

会計区分	一般会計		会計名						
事業名	首都圏等での移住相談会の参加								
施策の目的	奄美群島広域事務組合を中心に大都市圏での移住相談会に毎年参加し、奄美群島の交流人口の拡大・定住の促進に取り組む。								
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での移住相談会への参加（東京・大阪など計5回） ・移住体験ツアーやフリー滞在プログラムへの参加 								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
移住体験住宅利用世帯数	目標	10	10	11	11	12	B
	実績	7	4	/	/	/	
移住体験住宅利用者の移住世帯数	目標	1	1	1	2	2	A
	実績	1	2	/	/	/	
【評価】							
●令和3年度実績（奄美群島全域の数）							
(1) 移住体験ツアー：31組54名 (2) フリー滞在プログラム：12組19名							
(3) 首都圏での移住相談会（5回）：41組52名							
(4) オンライン相談会：10組15名							
※奄美群島広域事務組合を中心に奄美群島全域での移住支援を進め、今後も、各事業等の参加者に対し瀬戸内町への移住・定住に向けた情報を発信していく。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○住居・生活・仕事をサポート (UIOターン支援情報提供事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	UIOターン支援情報提供事業		
施策の目的	奄美群島の活性化に向けた定住・交流人口拡大のため、奄美群島一体となったUIOターン支援を移住希望者等に対して行う。		
具体的な施策内容	(1) ねりやかなやHPによる情報発信 (2) 問い合わせ窓口の一本化 (3) 移住体験ツアーの開催 (4) オンライン移住相談会の実施 (5) フリー滞在プログラムの実施		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位: 千円)	款		項		目		節		(単位: 千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節		細節	費目名			金額			細節	費目名			金額				
18		1	奄美群島広域事務組合負担金			132											
計						132			計						0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6								
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数 (単位: 人)	目標	446	452	458	464	470	C	
	実績	417	421					
【評価】								
<p>奄美群島の課題として、若年層を中心とした人口流出及び高齢化が著しく、経済規模の縮小や担い手不足による産業の衰退が懸念されるとともに、維持・存続が危ぶまれる集落の問題が顕著化しており、地域の活性化を図るため、移住者受入体制を今後も継続して整備することが必要である。</p> <p>また、移住希望者は、南の島への関心があるのであって行政区域の意識はないことが多く奄美群島全体として移住支援を進めていく必要性から広域事務組合を中心に奄美群島UIOターン支援協議会を設置し、情報発信の一元化や官民協働を推進していく。</p>								

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	與島 大吾
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	〇本町でしか味わえない体験をとおした着地型滞在型観光		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美らしい滞在型・着地型観光推進事業		
施策の目的	旅行者を対象とした、プレミアム商品券(20%付与)を販売することにより、購入者への満足感と町内消費を活性化し、本町の観光推進に繋げ、購入者へアンケート調査を行うことにより、本事業の更なるブラッシュアップが期待でき、観光客の増加・定着を目指す。		
具体的な施策内容	せんとうち旅得券を発行		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	8	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
10	2	需用費		900			国補助金		1,800								
18	2	補助金		2,100			県補助金		300								
							一般財源		900								
計				3,000		計				3,000							

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プレミアム商品券発行数	目標	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	A
	実績	1,900	1,900				

【評価】

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中ではあるが、全国各地から旅行者が体験活動や宿泊・飲食などでプレミアム商品券を活用し、購入者への満足感と町内消費の活性化を図ることができた。購入者へのアンケート調査を活用し、本事業の更なるブラッシュアップをし、今後の観光客の増加・定着を図る。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○本町に移住を希望する者に住宅を提供(移住体験住宅)		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	移住体験住宅																
施策の目的	瀬戸内町に移住等を希望する方が、シマでの生活体験ができる移住体験住宅を利用することにより、移住・定住の促進や集落の活性化に資することを目的とする。																
具体的な施策内容	移住体験住宅の場所 : 嘉鉄・押角(各1戸) 移住体験住宅の使用期間 : 最低1週間から最長6箇月 移住体験住宅の使用料 : 1泊2,000円、1ヶ月50,000円(光熱水費を含む。)																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	17	事業	2	(単位:千円)	款	13	項	1	目	1	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
10		需用費			234		005	移住体験住宅使用料			648						
11		役務費			28												
12		委託料			178												
13		使用量及び賃借料			70												
計					510		計					648					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
移住体験住宅利用世帯数	目標	10	10	10	10	10	B
	実績	7	4				
移住体験住宅利用者の移住世帯数	目標	1	1	1	2	2	A
	実績	1	2				
【評価】							
【令和3年度実績】							
利用者: 7名4世帯(嘉鉄: 1名1世帯)(押角: 6名3世帯)							
移住者: 2名2世帯(古仁屋・節子)							
●新型コロナウイルス感染症の影響により延べ184日間利用を休止したため、利用者の減少となったが、2名2世帯が瀬戸内町へ移住できた。							
今後もこれまで同様に運用を図り利用希望者等に活用しやすいよう町HPの情報を更新し広報していく。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信		

会計区分		会計名	
事業名	奄美歴史浪漫探訪整備事業		
施策の目的	大河ドラマ「西郷どん」放映を機に全国から奄美大島が注目されたことに伴い、奄美大島5市町村の歴史や関連する資源を活用した周遊ルートの整備を行い来島する観光客に提供することで、観光客の満足度向上と各市町村への経済波及効果を図る。		
具体的な施策内容	奄美大島5市町村で歴史をめぐる周遊ルートを作成。それに伴い久慈水溜跡・久慈白糖工場跡に案内板、解説版を設置する。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R 3は、経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ルート整備数	目標	0	5	5	5	5	A
	実績	0	5				

【評価】

H30年度にルート・パンフレットを作成。令和3年度に案内板、解説版を設置した。
 本町では、久慈白糖工場跡、水溜跡に案内標識、解説版を設置し、島の玄関口である奄美空港・名瀬港・古仁屋港(せとうち海の駅)に可動式の総合案内版及びパンフレットを設置した。
 本事業では、幕末・明治の歴史、浪漫をめぐるルートを作成しており、今後は戦跡等も含めて観光資源としての活用を検討する。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	鼎 丈太郎
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2	※事業No.127と同。
事業概要	〇戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信			

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	埋蔵文化財調査費（埋蔵文化財を把握し内容・価値に応じて適切に保存・活用）																
施策の目的	本事業は、瀬戸内町内の埋蔵文化財を把握し保護することを目的とする。 また、確認された遺跡は、開発事業との円滑な調整を行うのみでなく、郷土教育や各種事業等にも活用し、地域の活性化を図る資源として活かすことも目的としている。																
具体的な施策内容	本事業では、瀬戸内町内の埋蔵文化財の分布や内容を把握し、遺跡の保護・活用及び開発事業との調整を行っている。また、近代遺跡については、国庫補助事業を活用して調査を実施しており、関係機関と連携・協力し、情報の共有化を図りながら、より良い調査・保存・活用方法の検討に努めている。令和3年度は、これまでの調査成果の整理を行い、遺跡調査報告書を作成した。また、水産観光課と連携し、遺跡看板（久慈・海の駅）を設置した。																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	4	事業	1	(単位：千円)	款	14	項	2	目	7	節	3	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		節	細節	費目名			金額					
1~4		報酬・手当・共済費			3,921		1		文化財保護事業補助金（国庫補助分）			2,314					
7		報償費			250		1		文化財保護事業補助金（県補助分）			185					
8		旅費			1,573												
10・11		需用費・役務費			2,320				（一般財源）			7,170					
12		委託料			1,500												
13		使用料及び賃借料			105												
計					9,669		計					9,669					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
埋蔵文化財の広報 ※R6の10講座/年に向けて段階的に設定 ※R3は、コロナ及び報告書作成の為講座減	目標	6	7	8	9	10	B
	実績	6	3				
【評価】							
<p>●令和3年度は、これまでの調査で得られた成果や文献史料の整理を行い、近代遺跡（戦争に関する遺跡）の遺跡調査報告書を600部（補助事業500部、増刷100部）作成した。補助事業費で作成した報告書については、群島内の高校や図書館、全国の研究機関等に配布を行った。</p> <p>令和3年度の施策の目的は、概ね達成することができた。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-2	※No.47と同事業(再掲)
事業概要	〇農泊や農業体験をとおしたインバウンド			

会計区分	一般会計	会計名							
事業名	農山漁村振興交付金事業(旧久慈小中学校活用)								
施策の目的	旧久慈小中学校の活用に向け、地域が抱える課題解決を図り、将来にわたって自立的発展を成し遂げていくため、本地域独自の自然景観・文化、農林水産物や水産加工品等、様々な地域資源を十分に活用する。また、農業体験型・滞在型観光メニューの造成や民泊を含む宿泊業者と連携しながら、交流人口・滞留人口の増加を図る。								
具体的な施策内容	通過型観光から滞在型観光への転換で、観光客の滞在期間の増につなげる。・新たな産業の誘致・起業支援として、旧久慈小中学校の校舎の一部を改修し、ワーケーション施設を整備する。・本地域でとれた野菜や果物、魚を素材とした料理、本地域で作られた魚醤で調理された料理を提供する。・地域の魅力を積極的に情報発信として、本地域の宿泊施設や食事処、体験プログラムを紹介する。・循環型農業を実現し、地産地消カフェを整備する。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
宿泊者数(人)	目標			100	500	600	
	実績						
売上高(宿泊・食事・体験) (千円)	目標		200	1,000	1,500	2,000	D
	実績		20				
【評価】							
<p>・令和3年度の進捗状況等を踏まえ、令和4年度はワークショップを2回、協議会を3回ほど開催し、事業全体の進捗確認と、より具体的に計画の深化を図っていく。・全体事業計画が誰にでも見やすくわかりやすく、イメージしやすいようにするため、イラストを作成する。・宿泊施設確保に向け、具体的に設計及び建設に取り組む。運用方法については、収支の考え方や管理体制などを検討する。また、宿泊施設のオンライン予約や本地域の魅力発信のため、情報発信の仕組み作りを行う。・魚醬づくりのための施設整備を行うため、具体的に設計及び建設に取り組む。資金をクラウドファンディングで集められないか検討する。・本地域は、幕末から明治期の日本の近代化を支えた歴史的な施設や戦跡などが数多く残されているため、これら施設を観光コンテンツとして活用することを検討する。また、感染症対策をしっかりと考慮した上で、実際に戦跡巡りツアーを実施し、観光コンテンツとして確立を目指す。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	手嶋 祥大
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-3	※事業No.7と同(再掲)
事業概要	〇多言語によるコミュニケーションの向上			

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(地域通訳案内士事業)																
施策の目的	観光人材のインバウンド対応能力(接客能力、業務改善能力など)を高め、観光サービスの質を向上させることにより、訪日外国人旅行者等の地域への誘客・長期滞在や消費拡大へ繋げる。																
具体的な施策内容	①奄美群島広域事務組合主催の研修を実施。(通訳案内士、語学、ホスピタリティ、地元学、旅程管理、実地研修、救命研修) ②研修修了試験の実施 ③地域通訳案内士の登録 ④地域通訳案内士登録後も定期的なスキルアップ研修を実施																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳							歳入内訳										
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18		負担金			5,445			一般財源			5,445						
計					5,445		計					5,445					

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	D
	実績						
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	D
	実績						
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。平成28年に事業が開始されて以降、群島全体で159名(英語123名、中国語33名、韓国語3名)の方が地域通訳案内士の研修を終了している。その内瀬戸内町在住者からは9名(英語8名、中国語1名)の方が研修を終了している。</p> <p>当事業は、今後見込まれる訪日外国人旅行者等の需要増加に対し、観光人材の対応能力向上の役割を担っており、誘客や長期滞在促進及び消費拡大へと繋げる為にも無くてはならない事業である。現在のコロナ過の時期を活用し、現在の地域通訳案内士へのスキルアップ研修を実施するなど、広域事務組合と協力していく。</p> <p>※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。R2からは目標に向けて、年次的に上昇。数値確定は、「経済センサス」において、年度終了の2年後に公表される。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係長	担当者名	中島
----	-----	----	--------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-3
事業概要	○外国人を受け入れるための仕事や住居を関係機関と連携して支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	外国人人材の受入の取組		
施策の目的	世界自然遺産登録を契機として、外国人観光客がこれまで以上に本町にも訪れることが予想されるため、受入体制の強化が重要である。また、働き手不足の緩和と町内産業の活性化を図るため、外国人人材の受入にも取り組む。		
具体的な施策内容	令和3年度において、具体的な施策実施なし。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地域通訳案内士	目標	5	/	/	/	/	
	実績	5	/	/	/	/	
【評価】							
外国人の人材受け入れについては、現況では積極的な取組は実施していない。 将来的に、地域課題解決策の一つとして、事業実施の必要性が高まることがあれば、取り組んでいきたい。 ※前年度までのKPIは「地域通訳案内士」を提示していた。当KPIについては、別事業評価にて実施している。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○空き家情報の登録(空き家バンク制度)		

会計区分			会計名						
事業名	瀬戸内町空き家等情報登録制度(空き家バンク)								
施策の目的	空き家の賃貸又は売却を希望する所有者の物件を町HP等に掲載し周知を行い、利用希望者に紹介することで集落の人口増や活性化に繋げ、老朽危険家屋予備軍の減少にも資する事を目的とする。								
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者に情報を提供して貰い本町HP等で情報を公開 ・利用希望者が申込書を提出し空き家所有者に情報を提供 								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R3は、経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
空き家バンク登録物件数	目標	2	2	3	3	4	A
	実績	0	4				
【評価】							
【令和3年度実績】							
▶登録物件数4件(うち賃貸:3件、売買:1件) ▶成約件数3件(賃貸3件)							
<p>事業周知のため、町嘱託員会開催時に制度説明を実施。各集落嘱託員の方から、集落内の空き家情報の収集や、所有者への事業活用の働きかけをしてもらった結果、登録件数の増加に繋がった。</p> <p>今後は、民間企業と連携し空き家利活用を促進するため、一部業務委託を実施するとともに、税務課と連携し「固定資産税納付通知書」へ、当事業制度周知のチラシを同封することで、更なる事業周知の強化を図る。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○定住促進事業により将来にわたり本町での生活基盤を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	定住促進対策事業		
施策の目的	本町への移住者が、町内に生活基盤を置くための施策を実施することにより定住促進を図り、集落の活性化及び人口減少抑制に資することを目的とする。		
具体的な施策内容	定住促進住宅設置場所 (計8戸) ※R3年度内に西古見集落住宅は契約完了。 ・本島側 家賃20千円 手安・油井・西古見 ・加化呂麻側 家賃15千円 薩川・花富・押角・於齊・芝 入居できる期間 : 最長12年間		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	17	事業	4	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10	005	修繕料				387		一般財源				387					
計						387	計						387				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6								
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
当住宅整備数			目標	8	7	7	7	A
			実績	8	7			

【評価】

●令和3年度実績 全7戸中6戸に入居 定住促進住宅使用料 1,245千円 (令和3年度回収率100%)

これまで整備した当住宅に関しては、入居実績が13世帯39名の方が利用し、定住者についても11世帯35人 (定住率:89%) であった。

当住宅に関しては、地域提案型事業の空家利活用事業に重点を移したため、今後新たに整備する予定は現況において「無し」である。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○集落にある空き家を集落主体で改修するための経費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域提案型事業補助金（空き家利活用）		
施策の目的	集落内にある空き家を改修し、移住希望者等に体験住宅や民泊施設を提供することにより、定住促進と集落活性化を図る仕組みを作ることを目的とする。		
具体的な施策内容	交付金1件あたり1,300千円を上限に、総経費の8/10以内の額を補助。空き家の改修や民泊等施設への改修費用を助成。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目	節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳							
節	細節	費目名			金額				細節	費目名			金額			
18	2	地域提案型事業			4,776					一般財源			4,776			
計									計							
4,776									4,776							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
交付決定数	目標	2	2	2	2	2	A
	実績	5	4				

【評価】

- 令和3年度実績 4件
- これまでの実績として合計12件（薩川集落 3件・西阿室集落 2件・瀬武集落 2件・池地集落・須手集落・西古見集落・篠川集落・網野子集落）の空き家を改修し、その全ての住宅で現在入居している。事業活用集落において十分地域活性化に資する事業となっており、今後も継続して空き家対策の展開を拡充し集落の活性化に繋げていきたい。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-3-1	※事業No.108と同(再掲)
事業概要	○定住促進と切れ目ない子育て支援 (出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」)			

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	地域活性化定住促進事業(出産・入学祝金支給事業)																
施策の目的	<p>【出産祝金】 本町に住所を有し居住している者の出産に対してこれを祝福し、出生児の健やかな成長に寄与するため、瀬戸内町出産祝金を支給する。町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することを目的とする。</p> <p>【入学祝金】 小学校及び高校に入学された児童・生徒を養育している方に祝金を支給することにより、次代を担う児童・生徒の健全育成を目的とする。</p>																
具体的な施策内容	<p>【出産祝金】 50,000円×45名=2,250,000円</p> <p>【入学祝金】 小学校入学 50,000円×61人=3,050,000円 高校入学 50,000円×23人=1,150,000円 小計 4,200,000円</p> <p>●合計6,450,000 ※地方債は過疎ソフト債</p>																
【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
19	1	扶助費			6,450		4	地方債			6,000						
								(一般財源)			450						
計					6,450		計					6,450					

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	80%	/
	実績	/	/	/	/	未定	
【評価】							
●切れ目ない支援と定住促進、地域活性化にもつなげ、満足度向上を目指す。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	建設課	係名	都市整備係	担当者名	山田
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○本町内の快適な住宅環境を保つため住宅リフォームを助成		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	住宅リフォーム等経済対策事業																
施策の目的	住宅のリフォーム工事等を行う者に対し、助成金を交付し、町民の居住環境の向上と住宅投資の波及効果による地域経済の活性化を図ることを目的とする。																
具体的な施策内容	・住宅のリフォーム工事等の費用が50万円以上の工事に対し、10万円を助成する。 (定員：20件)																
【経費内訳】																	
款	8	項	6	目	1	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳												
節	細節	費目名			金額	細節	費目名		金額								
18	2	補助金			1,700		(一般財源)		1,700								
計					1,700	計					1,700						

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
住宅リフォーム等経済対策事業の助成件数	目標	20	20	20	20	20	A
	実績	20	17				
【評価】							
平成24年度より事業を実施しており、令和3年度末時点での実績件数は204件です。 現在、予定件数と、同等の申込み件数があり、また経済対策事業としても必要な事業であることから、今後においても継続していく考えであります。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	登島 純一
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○地方移住を望む高齢者の希望実現(日本版CCRC)		

会計区分			会計名						
事業名									
施策の目的	生涯活躍のまち(日本版CCRC)の推進								
具体的な施策内容	現行の移住関連事業に高齢者向け施策を加える ・移住希望高齢者向け施策資料の作成, 広報 ・集落や社会資本(サロン、各種教室、老人クラブ等)の資料作成、広報 ・効果的な高齢者施策を展開するために官民合同の事務局の設置を検討								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位: 千円)	款	項	目	節	(単位: 千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6									
KPI(指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
転入者数 ※基準値R1→441人			目標	447	453	459	465	470	C
			実績	417	432				
【評価】									
<p>当事業については、具体的な進捗は図れなかった。</p> <p>今後は、基本目標で掲げる「本町への新しい人の流れをつくる」取組については、社会の変容や本町の実情などを踏まえた施策を実施しながら、将来的に多くの人が住みたいと思う魅力的なまちづくりを目指し、取り組んでいく。</p> <p>※KPI設定は、基本目標2で掲げる「転入者数」とする。目標である、R6年度の470人以上/年へ向けて、年次的に上昇値を設定する。</p>									